

はじめに

先日の台風11号に伴う災害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。また、災害対応に当たっては、多くの人にご協力をいただき感謝申し上げます。今後、市としても速やかな災害復旧に努めるとともに、今回の災害を教訓とし、災害に対する備えや体制を引き続き強化していきたいと考えています。

先般、これまで2年に一度実施している市民まちづくり意識調査の結果がまとまりました。これによると、単純な比較はできませんが、瀬戸内市は住みやすいまちだと思ふ人の割合は平成22、24年と比べ増加し、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と感じている人の割合は、

66・7%となりました。

また、今後10年間の財政健全化の方針である中期財政計画の策定作業が始まりました。これまで、平成32年度には平成25年度と比較して約13億円の地方交付税が段階的に減額される見込みとしていました。支所に要する経費等について交付税措置の見直しが行われ、合併自治体に対しての地方交付税の減額幅が若干緩和されることとな



りました。

しかしながら今後増加する行政需要や人口減少に対応し、持続可能で安定した自立性の高い財政運営を確立していくためには、引き続き市民の皆様にご理解いただきながら、財政健全化に向けた取り組みを進めていく必要があります。今後も皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

台風11号への対応

台風11号に対応するため、8月8日に班長会議を開き、各班に準備を指示しました。

9日午後1時10分に災害対策本部を設置し、午後3時には第2次警戒体制をとりました。その後、市内6カ所に避難所を設置し、さらには災害の恐れがあるため午後4時30分に避難準備情報を出し、警

戒に当たりました。

10日午前4時すぎに洪水警報が発令（また午前6時38分に土砂災害警戒情報が発表）されたため、午前7時10分に避難勧告を発令し、合計45人が避難しました。台風は午前10時ごろ、瀬戸内市に最接近し、強い雨や風と満潮時刻が重なったことから、住家床上浸水1棟、住家床下浸水63棟、非住家浸水7棟、市道、農道等農業用施設などの路面洗堀、路肩の法面崩落、崩土など40件以上の被害が発生しました。

移住、定住促進事業

瀬戸内市への移住・定住希望者は、年々増加し、空き家の提供を希望する登録者は、8月28日現在151人であり、東京、大阪で開催した

用語の解説・備考

市民まちづくり意識調査
瀬戸内市がめざす30年後のまちの姿を、現在市民がどの程度実感し、どのようなまちの姿を重要視しているかについて把握することにも、平成23年度を初年度とする第2次総合計画の数値目標に対する現状値を把握するために、無作為抽出した市民2,000人に対して5月に実施した調査。

台風11号

8月10日午前6時すぎに高知県安芸市付近へ上陸、その後四国を抜け、午前10時すぎに兵庫県赤穂市へ再上陸し、屋敷には日本海へ抜けた。

班長会議

瀬戸内市災害対策本部は、統括班・総務班・総合

岡山県の定住フェアにおいて、瀬戸内市への移住相談者は、岡山市、倉敷市に次ぐ人数となっています。

一方、提供できる空き家の登録件数は、14件であり、希望者の需要を満たしていない状況です。このため、現在地域で空き家の活用を行っている人や、市外からの移住者と連携し、さまざまなネットワークを活用することで、移住・定住人口の増加を図っていきたいと考えています。

また、牛窓地域の分譲宅地の販売は、本年度すでに6件の契約が成立しており、オリブ団地牛窓は、残り2区画となっています。しかし、東町



定住フェアで瀬戸内市の魅力を説明

ひまわり団地、牛窓西浜団地の残区画は16区画あり、本年度の完売は困難と考えています。このため、本年度末をもって終了する予定の定住促進補助金を2年間延長することも、残区画の大半を占める北側が道路に面する区画の販売について、具体策を検討していきたいと考えています。

子どもの定期予防接種における償還払い制度

長期入院などにより、県外の委託契約が困難な医療機関で予防接種を受ける場合は、接種費用が全額自己負担となり、保護者の経済的負担が大きい状況となっています。このような場合においても、保護者の負担軽減を図るため、償還払い制度を導入します。具体的には、いったんは接種費用を支払いますが、申請により市から接種費用の全部または一部を助成するというもので、時期を逃さず予防接種が受けられる仕組みとします。10月1日から実施する予

定です。

ごみの減量状況

「燃やすごみ」の減量率は、4月末時点では14・5%、5月末時点では13・7%、6月末時点では14・2%、直近の7月末時点では12・5%でした。

「燃やすごみ」は、4月から7月の収集量の合計が約3,061・6トで、前年同期と比べて約192・5ト(5・9%)の減量となっています。このように大幅な減量となったのは「古紙」「その他プラスチック」「ペットボトル」の分別回収が進んだためと考えられます。



集められた「その他プラスチック」

「古紙」は、4月から7月の回収量の合計が約126・7トで、月平均の回収量は31・7トとなり、前年同期と比べて約17・7ト(16・2%)の増量となっています。

「その他プラスチック」は、4月から7月の回収量の合計が約55・3トで、月平均の回収量は約13・8トとなり、前

年は回収がありませんでしたので、前年同期と比べて55・3トの増量となっています。

「ペットボトル」は、4月から7月の回収量の合計が約16・1トで、月平均の回収量は約4・0トとなり、前年同期と比べて6・9ト(75・0%)の増量となっています。

なお、これまでの「その他プラスチック」「ペットボトル」の回収量は、当初見込んでいたものを大きく上回っています。

公共下水道事業

汚水処理施設整備交付金について、補助金ベースで7、

政策班・市民生活班・保健福祉班・産業建設班・教育班・上下水道班・消防班・病院班の合計10班で組織され、本部長（市長）と副本部長（副市長・教育長）がそれらを統括する。班長は、関係部長級職員が務める。

東町ひまわり団地

牛窓町牛窓にある団地。市が売り主として、6区画を分譲している（12区画は分譲済み）。販売価格は、4,319,000円から4,461,000円まで。分譲面積は、228・36平方メートル（69・08坪）から229・09平方メートル（69・30坪）まで。

牛窓西浜団地

牛窓町鹿忍にある団地。市が売り主として、10区画を分譲している（10区画は分譲済み）。販売価格は、4,019,000円から4,212,000円まで。分譲面積は、232・32平方メートル（70・28坪）から238・81平方メートル（72・24坪）まで。

000万円増額の内示があり、平成27年度計画の牛窓処理区約1・9^キ、邑久処理区約0・7^キの管渠工事を前倒しで行ってまいります。

農村地域防災減災事業

平成25年度から市内に644カ所ある、ため池の一点検を行っています。平成25年度は受益面積2^ハ以上の池、約160カ所の点検が完了し、本年度は5月に補助金の交付決定を受けた農村地域防災減災事業において、受益面積が0・5^ハ以上2・0^ハ未満の池を81カ所点検します。

地域包括ケアシステムの構築

地域包括ケアシステムの構築のために、瀬戸内市在宅医療・福祉・保健連携推進協議会を中心に検討会や研修会などを開催しています。

その一つとして、7月15日に多職種の相互連携の推進のための研修会として、瀬戸内市民病院医師による「糖尿

病セミナー」を開催し、約100人の参加がありました。今後も市民病院専門職による研修会を3回シリーズで開催する予定です。そのほかの事業にも多くの専門職の参加があり、連携が深まっています。

また、市民の皆さんにも、在宅医療について学んでもらうために、長野県諏訪中央病院で「市民とともにつくる医療」を実践している、医師であり作家の鎌田實氏を講師に招き、10月18日に在宅医療普及講演会を開催します。

病院事業運営提言委員会

市民病院の提供する医療サービスの向上に資することを目的として、外部委員による評価や提言を病院事業運営に活用する「瀬戸内市病院事業運営提言委員会」を7月4日と8月20日に開催しました。委員から現在の市民病院に対する評価、提言、質疑などの有意義な意見をいただきました。今後、運営改善の具体

策を検討して、対応策を実施し、評価、見直しを重ね、市民に安らぎと幸せを届ける病院の実現を図ってまいります。

新病院建設

新病院の新築工事については、7月30日に入札の公告を行い、9月3日に入札を予定しています。（入札の結果、不調となりました。）また、造成工事は、調整池の工事が完了し、最終段階となっています。近隣の住民の皆さんには、引き続きご迷惑をお掛けすることになりますが、ご理解をいただきながら事故のないよう進めてまいります。

病院の新しい理念と基本方針

患者さんや社会、地域から信頼され、支持され、瀬戸内市になくてはならない病院を目指すため、新たに病院の理念を「市民に安らぎと幸せを届ける病院を目指します。」としました。また、この理念を実現するために7つの基本



市民病院フェスティバル（写真は、腹腔鏡器械の操作体験）なども開催し、地域から信頼・支持される病院を目指す

方針を定めました。

7月12、13日に職員宿泊研修を実施して、理念と基本方針を実現するために何が必要か、現状の課題は何かなどについてワークショップなどで意見交換しました。8月から職員一同、基本方針に沿って日々の業務に努め、病院事業管理者を中心に職員一丸となって理念の実現を目指しています。

上半期の火災救急概況など

火災の状況については、1月から6月末までの上半期の火災件数が6件で、前年同期より8件減少しています。火災種別でみると建物火災3

件、林野火災1件、その他の火災2件であり、前年と比べて建物火災3件、林野火災2件、その他の火災3件の減少となっています。死傷者については、高齢者1人が亡くなり、2人が負傷しています。救急の状況については、火災と同期における出動件数が777件であり、前年同期より55件減少しています。

熱中症については、5月19日から8月10日までの間で、全国で31、135人が、岡山県では602人が救急搬送されています。本市では、18人を搬送しており、前年同期と比較すると2人減っています。年齢区分では、少年3人、

緊急消防援助隊の派遣

8月20日未明に発生した広島市における大雨による土砂災害により、同日午後0時30分、消防庁長官から岡山県知事に対し、緊急消防援助隊の出動要請があり、岡山県隊として、岡山県消防防災ヘリ1機、岡山市消防局から12車両59人が派遣されました。

被災地の状況から、派遣が長期にわたると見込まれるため、8月24日岡山県消防保安課から瀬戸内市消防本部にも派遣依頼があり、8月25日から岡山市消防局隊に玉野市消防本部の3人、東備消防組合・赤磐市消防本部・瀬戸内市消防本部の各2人が加わり、2泊3日のサイクルで派遣しています。

派遣場所は、広島市安佐南



負傷者などの救助訓練

区八木地区、宿営場所は広島県消防学校で、主に行方不明者の捜索活動とがれきの除去作業を行っています。（9月5日で派遣は終了しました。）

幼稚園保育料の新たな減免制度

平成26年度になり、国の子育て支援施策の一つである幼稚園就園奨励費補助事業において、保護者に対する保育料の負担軽減を図るため、幼稚園入園時における多子世帯の所得制限を撤廃し、補助対象とする改正が行われました。市でも、子育て支援施策の一環として、この補助事業に沿い、瀬戸内市立幼稚園保育料減免規則の一部改正が教育委員会会議において承認され、新たな減免制度を実施しています。

新図書館整備

新図書館整備工事に係る入札は、去る5月27日に公告し、6月19日に実施しましたが、誠に残念ながら不調となりました。



中央公民館に隣接する新図書館建設予定地

した。教育委員会において、不調となった原因について調査、分析をしたところ、昨年の設計着手時期から今般の入札時期までに、建設物価が概ね10%程度上昇したことが直接的な原因であることが判明しました。

予想以上のスピードと比率で、資材や人件費の高騰が進んでおり、結果として落札に至らなかつたことについて、一日も早い開館を待ち望む市民の皆様には、心からお詫びを申し上げる次第です。

これまでの市民の皆さんの議論を踏まえた新図書館整備が、一日も早く実現できるよう、再入札を行う予定です。

予防接種

子どもの定期予防接種は、「BCG」「小児用肺炎球菌」「ヒブ」「ポリオ（単独不活化）」「四種混合」「三種混合」「二種混合」「MR混合」「風しん」「麻しん」「日本脳炎」「子宮頸がん」「水痘（水ぼうそう）」が対象。

ため池

農業用水を確保するために水を貯え取水ができるよう、人工的に造成された池。新田開発や用水不足解消を目的に、古代から近代にわたり築造され、現代に至っても貴重な水源として農業の礎の役割を果たしている。

地域包括ケアシステム

少子・高齢化の進展に伴い多様化・高度化する保健・医療・福祉（介護）サービスの需要に対応し、市民の健やかな生活を地域社会で支える仕組み

7つの基本方針

1. 地域が必要とされる医療を安全・安心に提供します。
2. 人を大切にし、患者さ

3. まの尊厳と権利を尊重します。
4. 医療・介護・保健・福祉施設等と連携し、市民とともに地域包括医療・ケアを進めます。
5. 常に自己研鑽に励み、医療の質向上に努めます。
6. 市民が必要とされる医療人を育成します。
7. 健全な経営基盤を確立します。
8. 楽しく働き甲斐のある職場をつくりまします。

新たな減免制度

小学校1年生から3年生までの姉・兄を有する場合、最年長者の保育料を半額減免し、同時に入園している最年長者以外の保育料を全額減免する。また、小学校1年生から3年生までの姉・兄がいない場合、同時に入園している第2子の保育料を半額減免し、第3子以降の保育料を全額減免する。

新図書館

邑久町尾張465・1地内（中央公民館が既設）に建設を予定している延床面積約2,300平方メートルの新しい図書館。